

平成30年9月3日
国土交通省東北地方整備局
山形県内4事務所

最上川水系渇水対策支部（注意体制）の解除について ～各関係機関との緊密な連絡調整等により渇水を乗り切る～

最上川流域では、6月以降の小雨による最上川流量の減少のため、東北地方整備局山形河川国道事務所及び最上川ダム統合管理事務所では、平成30年7月20日に、また酒田河川国道事務所及び新庄河川事務所では平成30年7月30日に「最上川水系渇水対策支部（注意体制）」を設置し、河川流況の監視及びダムにより適切な放流を行うとともに、関係機関との情報共有や連携強化により、平成30年産水稻の作柄概況「平年並み」の見込みとなる等、渇水を乗り切ることが出来ました。

今般、8月下旬からの降雨により最上川の流量等が回復したため、9月3日に注意体制を解除します。

また、渇水の概要を速報としてまとめたので、併せてお知らせします。

■平成30年の最上川渇水状況について（速報）・・・別添参照

■最上川の流況

単位：m³/s

観測所名	基準流量 ※2	9月3日 9時の流量	最小流量 ※1 (発生日)	備 考	
高 屋 (戸沢村)	60	592	58.4 (7月28日)	観測統計史上 14番目	昭和34年 から観測
稲 下 (村山市)	30	394	32.3 (7月27日)	観測統計史上 16番目	昭和27年 から観測
中 郷 (寒河江市)	11	155	4.3 (7月25日)	観測統計史上 6番目	昭和30年 から観測
小 出 (長井市)	7	74	3.3 (8月5日)	観測統計史上 24番目	昭和26年 から観測
糠野目 (高島町)	3	12	1.2 (8月2日)	観測統計史上 22番目	昭和44年 から観測

※1. 平成30年の流量は暫定値であり、確定値ではありません。

※2. 「基準流量」とは、渇水対策支部設置の基準となる流量です。

■各ダムの貯水率（平成30年9月3日9時現在）

管理者名	河川名	ダム名	所在地	貯水率[%]
最上川ダム統管	寒河江川	寒河江ダム	西村山郡西川町	81.9
最上川ダム統管	置賜野川	長井ダム	長井市平野	100.0
最上川ダム統管	置賜白川	白川ダム	飯豊町高崎	40.3
置賜総合支庁	綱木川	綱木川ダム	米沢市築沢	60.6
農林水産省	刈安川	水窪ダム	米沢市大字三沢	19.9

発表記者会：山形県政記者クラブ、米沢記者倶楽部、酒田記者クラブ、鶴岡記者会
新庄新聞放送記者会

問 い 合 わ せ 先



国土通省 東北地方整備局

最上川上流
(米沢市～村山市)

山形河川国道事務所

山形市成沢西4丁目3-55

電話 023-688-8421 (代表)

副所長(河川担当) 佐藤 勝美 (内線204)

河川管理課長 土田 昭夫 (内線331)

最上川中流
(大石田町～戸沢村)

新庄河川事務所

新庄市小田島町5-55

電話 0233-22-0251 (代表)

副所長(河川担当) 後藤 浩志 (内線204)

管理課長 田村 公仁 (内線331)

最上川下流
(戸沢村～酒田市)

酒田河川国道事務所

酒田市上安町1丁目2-1

電話 0234-27-3331 (代表)

副所長(河川担当) 佐藤 俊明 (内線204)

河川管理課長 黒坂 宏紀 (内線331)

寒河江ダム、白川ダム
長井ダム

最上川ダム統合管理事務所

西村山郡西川町大字砂子関158

電話 0237-75-2311

副所長(技術) 坂本 悟 (内線204)

管理課長 阿部 健一 (内線331)

平成30年の最上川渇水状況について（速報） 《平成30年8月31日 時点》



菖蒲観測所（白鷹町）付近の河川状況（H20.7.26撮影）



過去最低の貯水位を記録した白川ダム（H20.8.20撮影）

平成30年9月3日
最上川水系渇水情報連絡協議会
（事務局：山形河川国道事務所）

※数値は速報値ですので今後の精査により変更する場合があります。

降雨の状況（6月～8月）

山形県内の6月～8月の降水量は、**村山の一部と置賜**では6月から7月にかけて**平年の2～3割程度**しかなく、**かなり少ない状況**となった。

8月に入り、台風や前線などの影響により県内各地で平年の2倍以上（多いところでは5～6倍）の降雨を記録しているが、**置賜地方では平年並み程度の降水量**しかない状況であり、**3ヶ月間の総降水量も平年よりもかなり少ない状況**となっている。

平年値

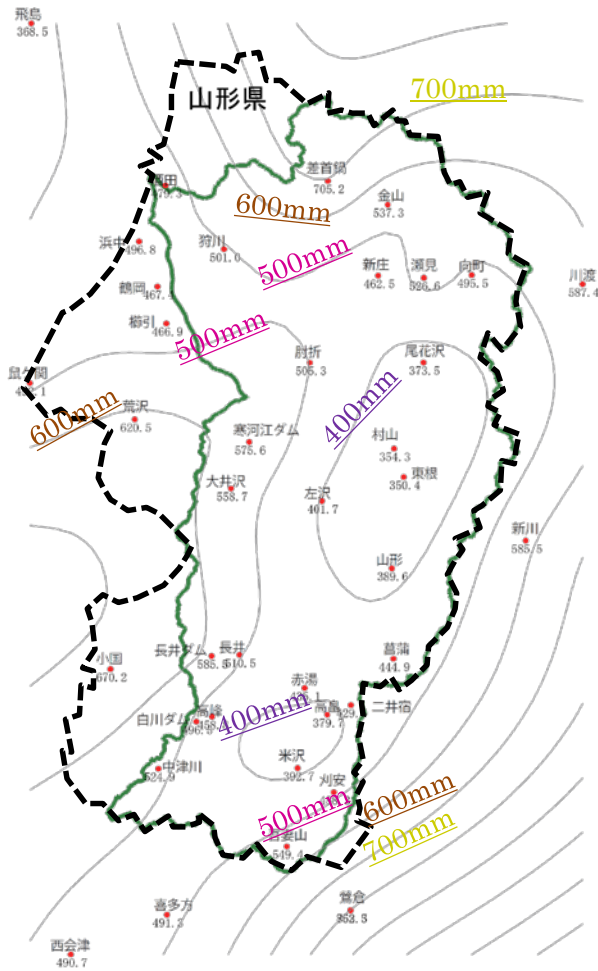


図1 アメダス6～8月降水量平年値

平成30年

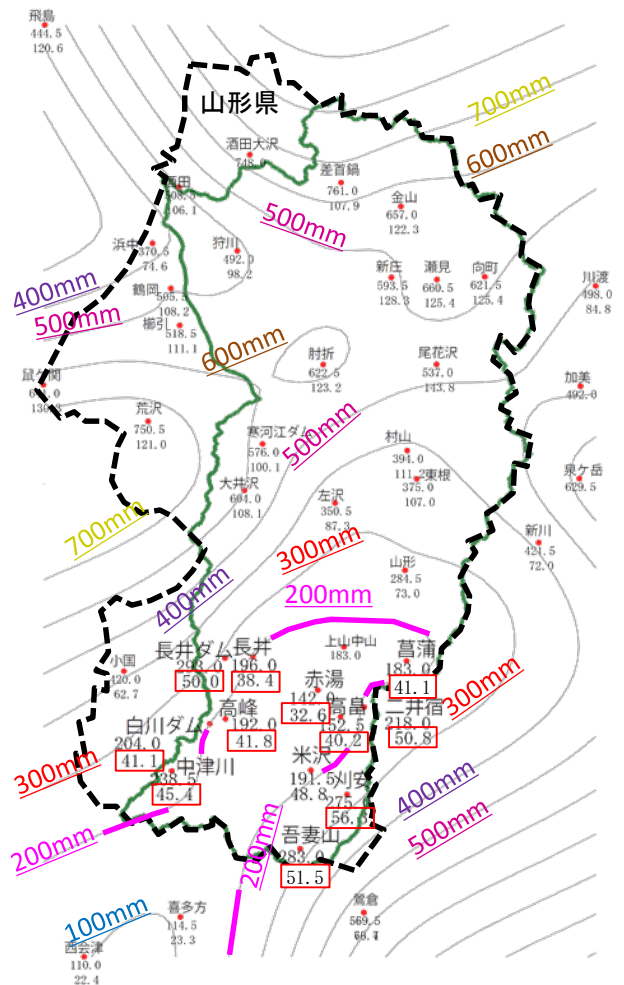


図2 アメダス平成30年6～8月降水量
(上段:降水量 下段:平年比)

山形県内各地域の降水量状況(6月～8月)

		6月			7月			8月(8/1～8/27)			6月～8月総計		
		H30	平年	平年比	H30	平年	平年比	H30	平年	平年比	H30	平年	平年比
村山	山形	42.5	110.5	38	52	157	33	190	122.1	156	284.5	389.6	73
	左沢	40.5	115.8	35	50	175.1	29	260	110.8	235	350.5	401.7	87
	尾花沢	71.5	107.6	66	37.5	155.1	24	428	110.8	386	537	373.5	144
荘内	酒田	84.5	120.7	70	80.5	209	39	343.5	149.6	230	508.5	479.3	106
	狩川	85	122.8	69	75.5	214.8	35	331.5	163.4	203	492	501	98
	榊引	108.5	125.8	86	55.5	192.7	29	354.5	148.4	239	518.5	466.9	111
最上	新庄	96	127.2	75	71	197.1	36	426.5	138.2	309	593.5	462.5	128
	肘折	82	134.5	61	43.5	210	21	497	160.8	309	622.5	505.3	123
置賜	差首鍋	146	181.6	80	106.5	317.6	34	508.5	206	247	761	705.2	108
	米沢	43	111.8	38	44.5	158.2	28	104	122.7	85	191.5	392.7	49
	長井	35.5	147.3	24	47.5	232.4	20	113	130.8	86	196	510.5	38
	中津川	51	142.1	36	37.5	221.9	17	150	160.9	93	238.5	524.9	45

かなり少ない
少ない

※6月～8月の総計は8/27までの降雨量による比較

流量の状況（6月～8月）

①

最上川の流量は小雨の影響により徐々に低下し、7月中旬頃から多くの観測地点で基準流量を下回る状況となった。

8月の降雨により、現在の流量は回復したが、全国規模の渇水であった平成6年に匹敵する流況となった。

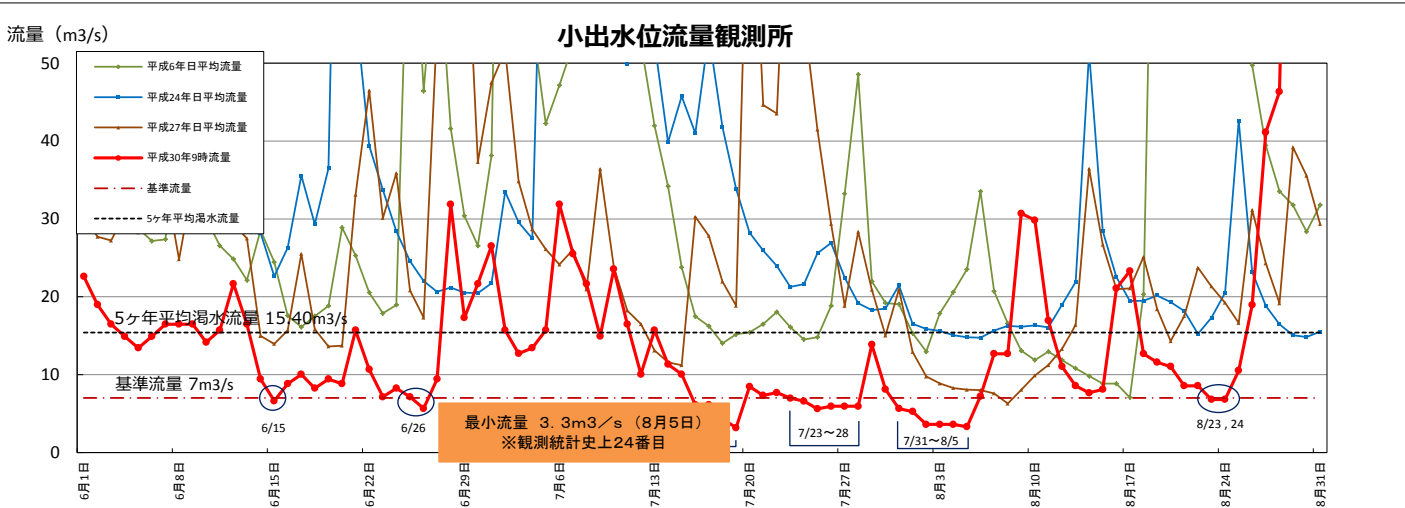
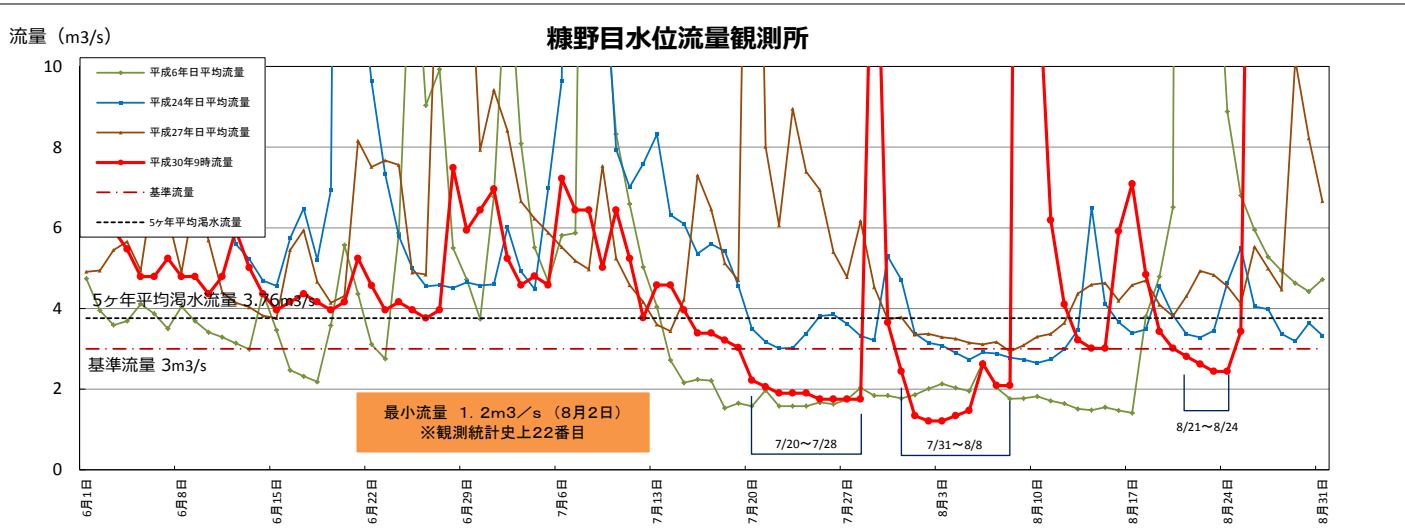


基準流量※を下回った日数	H6年 (6/1～8/28)	H24年 (6/1～8/28)	H27年 (6/1～8/28)	H30年 (6/1～8/28)
糠野目	40日	9日	1日	22日
小出	0日	0日	1日	20日

※「基準流量」とは、渇水対策支部設置の基準となる流量

※H6,H24,H27は日平均流量

※H30は9時流量

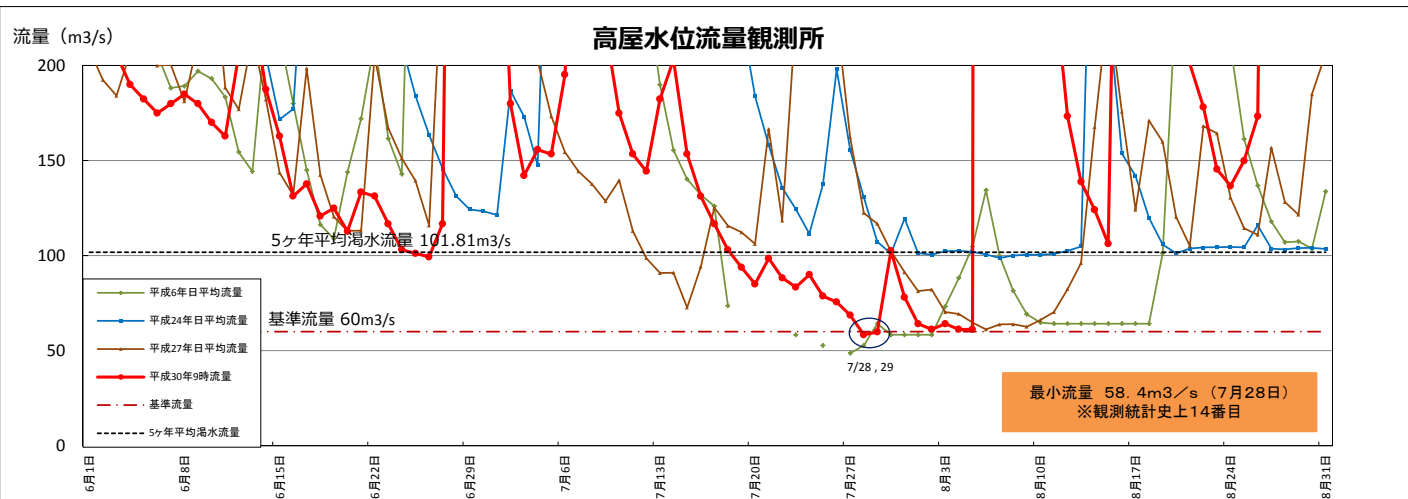
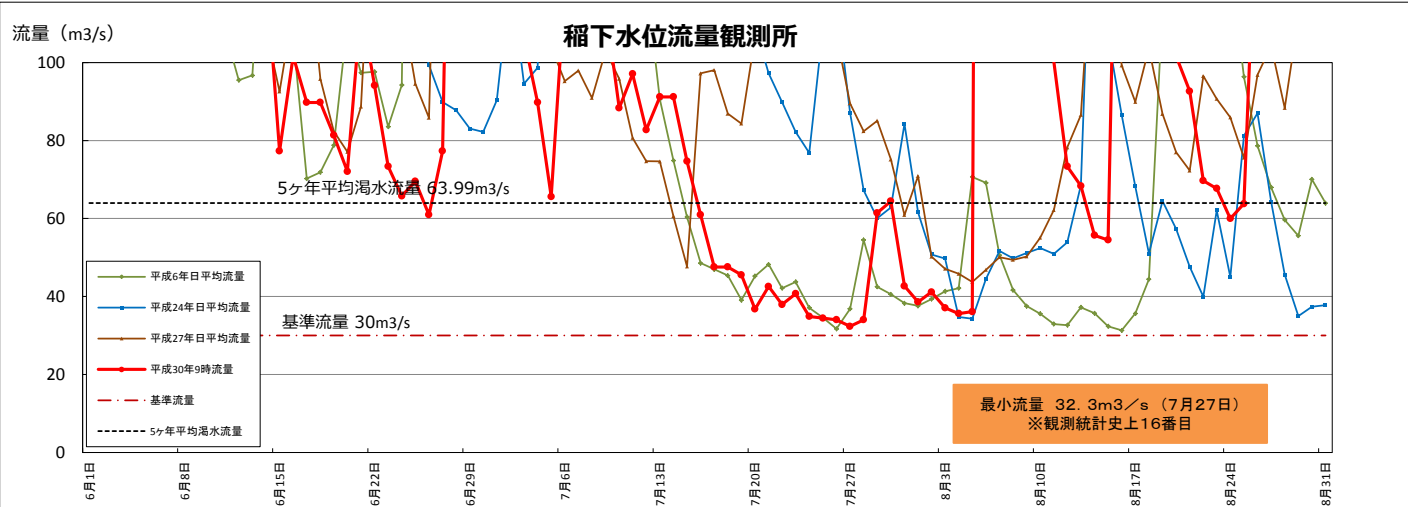
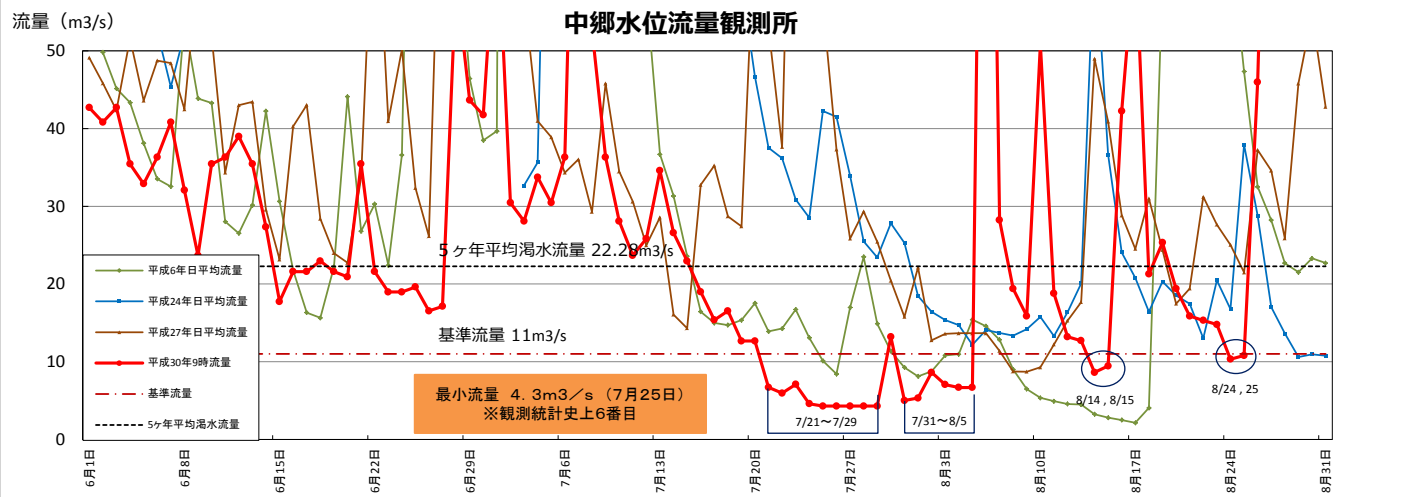


流量の状況（6月～8月）

②



基準流量※を下回った日数	H6年 (6/1～8/28)	H24年 (6/1～8/28)	H27年 (6/1～8/28)	H30年 (6/1～8/28)
中郷	18日	3日	3日	19日
稲下	0日	0日	0日	0日
高屋	8日	0日	0日	2日



河川の状況（定点写真）

米沢市上新田付近（上新田橋下流）



渇水の状況（7/26撮影） 水位8.89m



平年の渇水程度の状況

寒河江市中郷付近（此の木橋下流）



渇水の状況（7/27撮影） 水位9.96m



平年の渇水程度の状況

村山市南河島付近（基点橋下流）



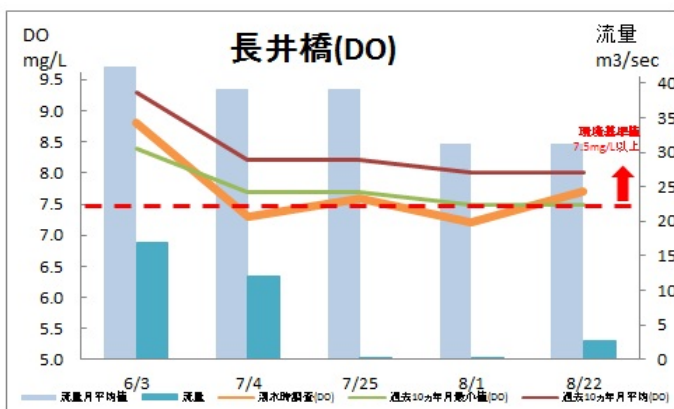
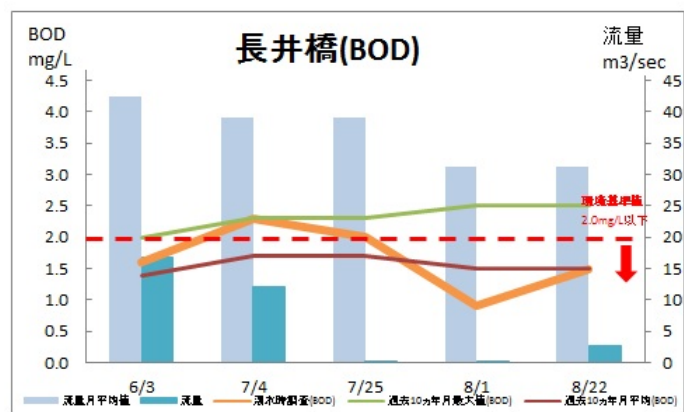
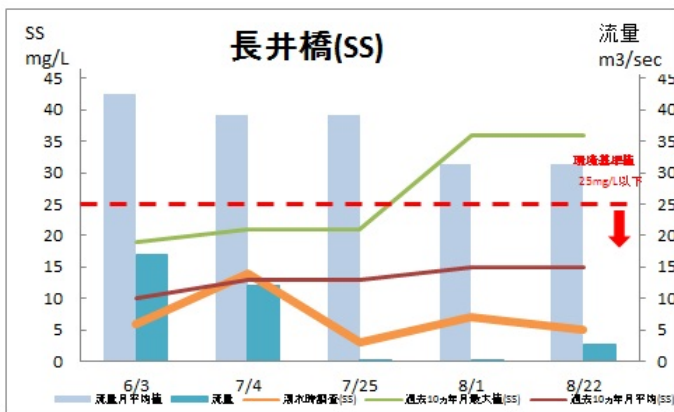
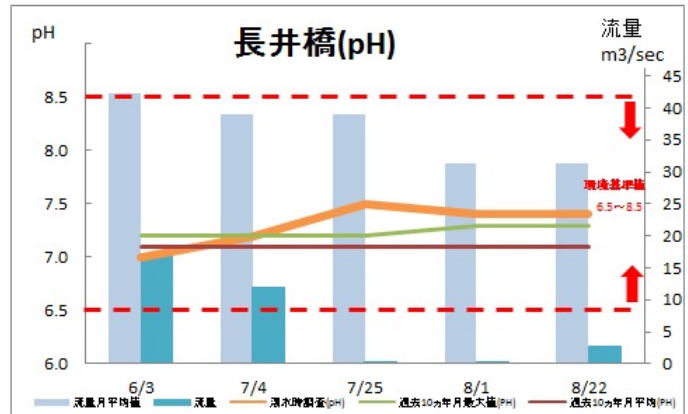
渇水の状況（7/27撮影） 水位10.26m



平年の渇水程度の状況

水質の状況

最上川における流量の減少に伴う水温上昇の影響などで、一部水質項目において環境基準値を超えたものの、魚の斃死や生態系への影響は確認されなかった。



【凡例】

- 流量月平均値
- 流量
- 湧水時調査
- 過去10ヵ年月最大値
※DOは最小値
- 過去10ヵ年月平均

PH : 7月以降は比較的高い傾向を示しているが、環境基準値内

SS : 環境基準値内(良好)

BOD : 7月に若干環境基準値超過したが、8月以降は基準値内

DO : 7月以降、環境基準値を若干超過したが、流量の回復とともに平年並みに落ち着いた

協議会の対応

最上川の流量や各ダム貯水量が基準を下回り、早期の回復が見込めない状況となったことから、最上川水系渇水情報連絡協議会では臨時の幹事会を開催し、流域内の関係機関との情報共有や連携の強化など、被害の防止と軽減に努めるとともに、国交省の各事務所では渇水対策支部(注意体制)を設置し、流況等の監視強化を図るとともに、関係機関等との情報共有や調整などに努めた。

平成30年の渇水は平成6年に次ぐ渇水となったが、合理的な水利用の調整と最上川への直轄ダムからの補給などをはじめ、緊密な連携による対応を行った結果、一部で取水制限等が行われたものの、断水や稲枯れなどの大きな被害はなく、山形県の水稲の作柄は平年並みの見込み(H30.8.31東北農政局発表)となっている。

最上川水系渇水情報連絡協議会の対応

1) 臨時幹事会の開催

- 第1回 7月13日: 構成員毎の情報提供と共有、連携の強化を確認
- 第2回 7月27日: 構成員毎の情報提供と共有、連携の強化を確認
- 第3回 8月31日予定(洪水対応に伴い順延)



2) 構成員の主な対応

① 酒田市上水道(山形県企業局)

塩水遡上の影響による酒田市上水道の取水停止に対し、関係各機関や田川ダムとの連携・調整により影響を緩和。



② ダム(国、県)

利水者とのきめ細やかな調整を実施。

白川ダム等ではかんがい用水や河川の流況改善としてダムからの補給を実施。

- ・白川ダム利水調整会議の実施(3回)
- ・長井ダム利水者調整会議の実施(2回)
- ・寒河江ダム利水者調整会議の実施(1回)



3) 渇水対策支部の設置

- 山形河川国道事務所 7月20日 注意体制
- 酒田河川国道事務所 7月30日 注意体制
- 新庄河川事務所 7月30日 注意体制
- 最上川ダム統合管理事務所 7月20日 注意体制



※流況の把握や瀬切れの状況(定点写真、UAVなど)
水質変化による魚の斃死などの確認とともに、臨時の流量観測や水質調査などによる監視の強化。

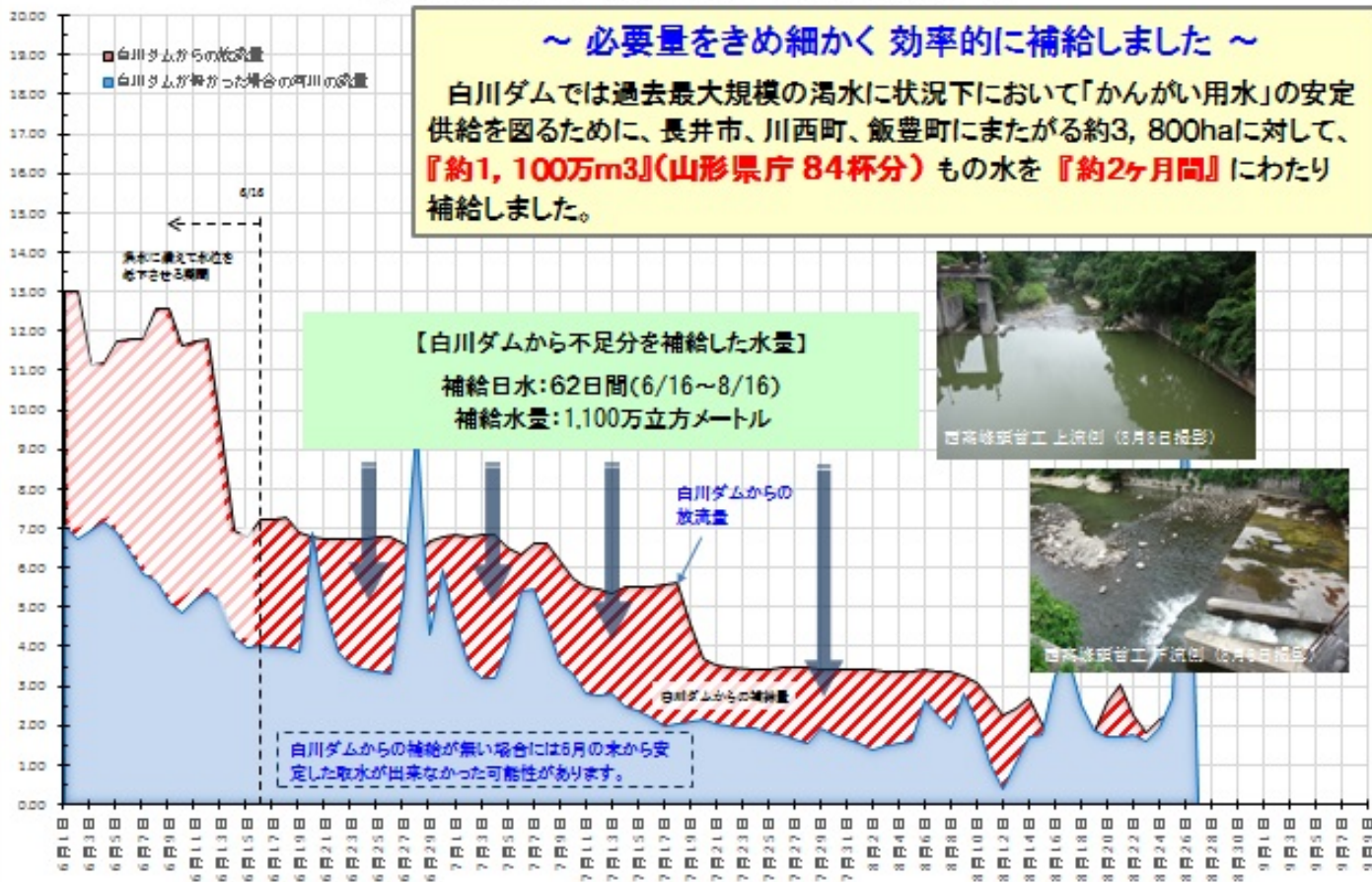


直轄ダムの対応

白川ダムからの補給状況について

～ 必要量をきめ細かく 効率的に補給しました ～

白川ダムでは過去最大規模の渇水に状況下において「かんがい用水」の安定供給を図るために、長井市、川西町、飯豊町にまたがる約3,800haに対して、『約1,100万m³』(山形県庁 84杯分) の水を『約2ヶ月間』にわたり補給しました。



～ 長井ダム・寒河江ダムから最上川へ補給を実施 ～

・最上川本川に対して長井ダム及び寒河江ダムから補給を実施し流況を改善

【長井ダム】 7日間にわたり(2～4m³/s)約190万m³(山形県庁 15杯分)の補給を実施
※長井ダムについては、管理移行後初の、最上川本川への補給を実施

【寒河江ダム】 6日間にわたり(1～5m³/s)約99万m³(山形県庁 8杯分)の補給を実施
※寒河江ダムについては、H6年以来 24年ぶりに最上川本川への補給を実施

